

## 江端川（上流）で確認されたマハゼ *Acanthogobius flavimanus* について

浅利 裕太\*

A record of *Acanthogobius flavimanus* in Ebata river, Fukui City

Yuta Asari\*

(要旨) 2013年10月6日, 福井市生部の江端川上流においてマハゼを採集した. 本来河川の下流域でみられるマハゼが河川上流でみつかるのは, まれであると思われる.

キーワード: マハゼ, 江端川, 福井市

マハゼ *Acanthogobius flavimanus* は日本では北海道から種子島まで分布するハゼの一種であり, 内湾や汽水域に生息している. 砂泥底を生息地として好むが, 幼魚は下流域でもみられる. 体は細長く腹鰭は融合して吸盤状となっており, 背と体側は褐色の斑紋がある. 多くは1~2年で成熟し産卵を終えると死ぬ (木村2009).

筆者は2013年10月に, 江端川 (九頭竜川水系一級河川) 上流(福井市生部)においてマハゼを採集した. (図1, 2, 3)

今回, 採集された地点は本川の九頭竜川河口 (三国港) からおよそ36.1km離れた江端川の上流である.

同日, スマチチブ *Tridentiger obscurus*, シマヨシノボリ *Rhinogobius cross band* など海から遡上する種も確認されたことから, 河口から確認地までの河川環境はマハゼが遡上するためにも好条件が揃っていたものと推測される. 本来は下流域を主要な生息場所としている本種が上流で確認されることはまれであると思われるため, 下記のとおり報告する.



図1: マハゼの採集地

採集年月日: 2013年10月6日

採取場所: 江端川上流 (福井市生部)

採集方法: 水路に入り, タモ網 (網目3mm) で採集

採集個体数: 1

体長 (BL): 100mm

最後に本稿を作成するにあたり, 福井市自然史博物館の梨木之正学芸員より, 発表の場を提供いただき, 丁寧かつ熱心なご指導を賜りました. 謹んで感謝の意を表します.

### 引用文献

木村 義志 監修 (2009) 日本の淡水魚 増補改訂フィールドベスト図鑑 (学習研究社), P218.

\*福井県立福井農林高等学校, 〒910-0832 福井市新保町49-1

\*Fukui Prefectural High School of Agriculture and Forestry, 49-1, Shinbo-cho, Fukui, Fukui, 910-0832 Japan.

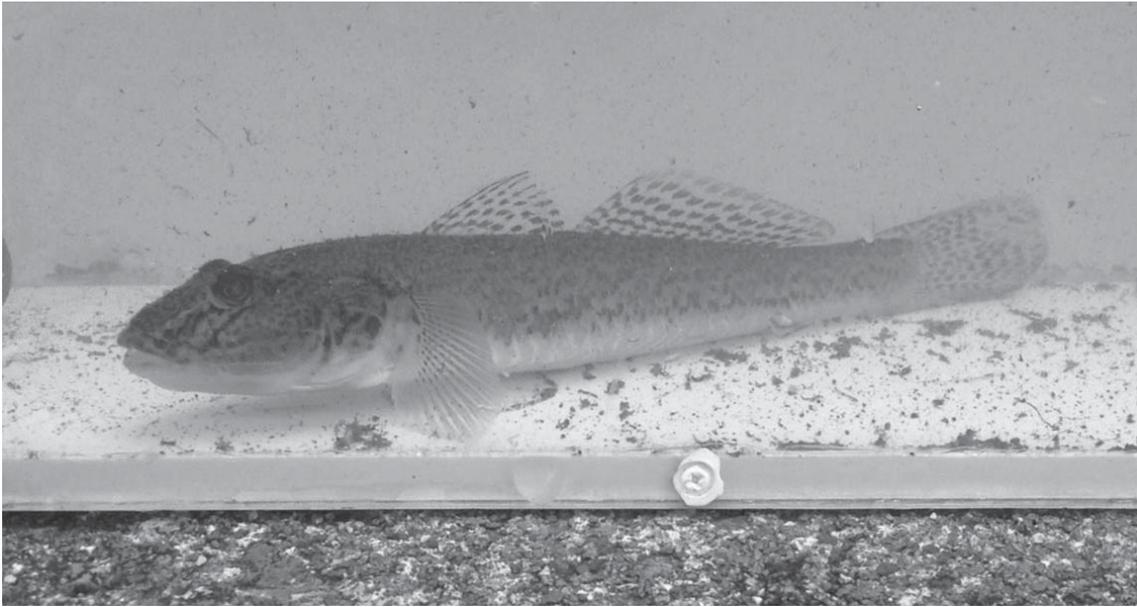


図2：マハゼ 採捕時



図3：マハゼ